

お知らせ

図書館利用証を交付します

附属図書館と総合人間学部図書館は、自動入退館システムと、コンピュータ貸出方式(開架図書のみ)を採用しており、附属図書館で発行する図書館利用証は、両館の入館証と貸出証を兼ねたものです。また、理学部所属の方は、理学部中央図書室での図書の貸し出しもできます。

(利用証の有効期限は、身分証の有効期限に準じて設定していますので)発行には、申請用紙に氏名、住所・帰省先住所等を記入の上、身分証(学生証)の提示を必要とします。

学部学生と修士課程大学院生及び博士課程大学院生は、入学・進学の際の名簿を元に利用証を一括作成してありますので、申請用紙記入後、すぐに利用証を受け取ることができます。平成7年度の新入生・新院生の利用証の交付は入学式の翌日4月12日(水)から開始する予定です。利用案内に挟んである「京都大学図書館利用証交付申請書」に必要事項を書き込み、学生証と共にお待ち下さい。下記の期間は新入生・新院生を対象とした利用証交付カウンターを設置します。

期間：4月12日(水)～4月28日(金)

9時～11時45分、13時～16時45分

場所：附属図書館1階

また、前年以前に入学・進学された方の利用証も作成保管してありますので、未だ交付を受けていない方は、附属図書館にお立ち寄りの際に申請して下さい。(但し、博士課程の方は、平成7年度から一括作成を始めたので下記により申請して下さい。)

上記以外の方(教職員・研修員・聴講生など)の新規発行と、在籍期限更新による再発行などの場合は、利用証発行までに1週間程度かかります。利用証の発行申請・交付は下記の時間帯に受け付けています。

時間：9時～11時45分、13時～16時45分

場所：附属図書館1階・インフォメーションカウンター

利用証を紛失した場合は、他者の利用を防ぐ為にも、必ず速やかに「紛失届」を出して下さい。約2週間後に新しい利用証を発行します。また、「紛失届」を出した後、利用証が見つかった場合も必ず届け出て下さい。「紛失届」を出している間は図書を借りる事ができません。また、所属(学部)・姓・住所・電話番号などを変更した場合も届けを出して下さい。

なお、紛失した利用証や旧利用証で、図書(附属図書館・総合人間学部とも)を貸出中の場合、新しい利用証が作成できませんので、速やかに返却して下さい。

(お願い)

入館の時には必ず利用証を入館機に通して下さい。矢印の方向に正しく挿入してもエラーメッセージが出る時や、入館機の中に利用証が引っかかる時は、作成し直しますので、メインカウンターまで申し出て下さい。

(資料運用掛)

新入生オリエンテーションのご案内

新年度の恒例となっている新入生向けの図書館オリエンテーションを、下記の日程で開催します。京都大学に入学された皆さんは、これから何らかの形で必ず図書館を利用する事になると思いますが、大学図書館にはさまざまなサービスや機能がありますので、その概要をオリエンテーションで紹介いたします。また、コンピュータによる利用者用目録(OPACと呼んでいます)の使い方の説明会も行います。

皆さんの、これからの学習・研究活動のプロローグとして有効な図書館利用法のヒントを提供できる事と思いますので、お気軽にご参加ください。

【開催日時・場所】

第1部 附属図書館利用案内

日時：4月12日(水)～4月14日(金)の毎日2回

1回目 12:10～12:50

2回目 15:00～15:40

場所：附属図書館三階 AVホール

内容：図書館利用案内ビデオ
利用方法の説明
貸出・返却・予約・更新等
本の探し方(目録カード・OPACの見方)
他大学との相互利用サービス
視聴覚資料(ビデオ・テープ)の利用法

第2部 OPAC 検索説明会

日時：4月18日(火)～4月20日(木)

1回目 12:10～12:40

2回目 15:00～15:30

場所：附属図書館一階 カウンター前

内容：OPACの使い方・データの見方

(参考調査掛)

中国語による附属図書館利用案内の発行について

外国人利用者向けの附属図書館利用案内は、これまで英文のものがありましたが、年々中国人留学生や来館者も多くなり、中国語で書かれた案内書の作成が待たれていました。

この度、英文のものと同一ような仕様で、中国語による利用案内のパンフレットを作成し、附属図書館カウンター及び各学部図書室にも配備いたしましたので、どうぞご利用下さい。

(参考調査掛)

附属図書館利用案内1995年版の発行について

この度、1995年版の附属図書館利用案内を作成いたしました。すでに各学部の図書室に送付しておりますので、新年度よりご使用下さい。また、新入生向けにも各学部の教務掛より配布されることになっておりますので、図書館の利用にお役立て下さい。

(参考調査掛)

図書館ツアーの実施について

参考調査掛では、本年2月より毎週1回、希望者に図書館内を案内してまわる「図書館ツアー」を行っています。毎週水曜日午前10時から30分間掛員が館内を案内しながら、図書館の施設・設備・利用法等について説明するもので、日頃学生の方には入れない書庫内を見ることができたり、目録カードの調べ方、OPACの使い方等について直接図書館員に疑

問点を聞くことができる等と、大変好評を得ています。

このツアーは3月末まで各週1回行う予定です。

(参考調査掛)

全国共同利用図書資料(大型コレクション)の利用案内について

このたび下記大学図書館より、平成5年度全国共同利用資料(大型コレクション)について利用案内がありましたので、お知らせいたします。

なお、内容明細につきましては、附属図書館参考コーナーをご参照下さい。

—記—

・東京学芸大学附属図書館

「ルドルフ・シュタイナー文献コレクション」

*内容明細あり

(参考調査掛)

CD-ROM ネットワーク検索システムの導入について

平成6年度の学内予算措置(教育研究特別経費)により、CD-ROMのネットワークでの利用が可能なシステムが導入されることになりました。ここで、内容について簡単にお知らせします。なお、詳細は追ってお知らせする予定です。

今回導入することになったシステムは、サーバー機として、UNIX系のOSを採用したワークステーションを採用しています。CD-ROMで送られてくるデータをハードディスクにロードして検索処理を行うため、直接CD-ROMにアクセスする方式と比較すると、応答速度が非常に早くなります。また、KUINSを利用することにより、学内のどこからでも、24時間体制で利用可能となり、既存のパソコンやワークステーションも、簡単な通信ソフト等を組込むことにより、検索端末として使える見込みです。

当初は、医学生物学分野の二次情報データベースである「MEDLINE」をサービスする予定ですが、将来的にはそれ以外のデータベースについても検討を予定しています。

(システム管理掛)